

1. 件名：蒸気ボイドによる余熱除去系の機能不全の可能性に係る面談
2. 日時：平成29年6月21日（水）10：50～11：55
3. 場所：原子力規制庁7F会議室
4. 出席者：  
原子力規制庁 原子力規制部 原子力規制企画課  
石井企画官、帯刀課長補佐、片岡専門職、安岡専門職、  
電気事業連合会  
原子力部 副部長  
関西電力 原子力事業本部  
発電グループ マネージャー他1名
5. 要旨
  - (1) 規制庁より、配布資料1にもとづき、「蒸気ボイドによる余熱除去系の機能不全の可能性」案件の概要を説明した。
  - (2) 規制庁より、配布資料2を使って、同案件の検討経緯・背景について説明した。
  - (3) 電気事業連合会と関西電力から、事業者の検討状況説明があった。それらをもとに、以下の調査項目について、今後の進め方を確認した。
    - 国内プラントの検討状況
    - 国内プラントの短期的対応状況・方針
    - 国内プラントの長期的対応方針
6. 配布資料
  1. NRC INFORMATION NOTICE 2010-11: POTENTIAL FOR STEAM VOIDING CAUSING RESIDUAL HEAT REMOVAL SYSTEM INOPERABILITY,  
<https://www.nrc.gov/docs/ML1006/ML100640465.pdf>
  2. 資料4 - 4 要対応技術情報リスト（累計）、第16回原子炉安全専門審査会・第15回核燃料安全専門審査会 合同審査会（平成29年06月20日）、  
<https://www.nsr.go.jp/data/000192621.pdf>

以上